
岐阜県立岐阜高等学校

校 長 石田 達也
学校住所 岐阜市大縄場3丁目1番地 電話 058-251-1234

- 1 会議の名称 第1回岐阜高等学校学校運営協議会
- 2 会議の構成 委 員 伊在井みどり 安江病院 院長
高木 敏彦 岐阜県教育文化財団 理事長
中村こず枝 岐阜市健康部長兼保健所長
西津 貴久 岐阜大学 教授
萩野 順子 本校PTA会員
安田 洋一郎 本郷自治会副会長

学校側 石田 達也 校長
寺倉 新一 事務部長
笠原 常豊 教頭
渡部 彰規 教頭
杉山 秀謙 教務部長
北川 英治 生徒指導部長
黒井 昌和 進路指導部長

(敬称略 委員名は50音順)
- 3 会議の目的 「将来の日本や世界の様々な分野でリーダーとして活躍する人材の育成」等の観点から、岐阜高校の教育活動の在り方について、地域住民や保護者及び有識者などから幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 令和5年6月6日(火) 13:30~15:30 会議室
委員4名(2名欠席) 学校側7名出席
- 5 会議の概要 (1) 学校運営協議会制度について
(2) 会長、副会長選出
(3) 令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画について
・各分掌からの説明
(4) 委員からの意見・提言

【委員からの意見・提言】

- 意見1：探究活動が大学進学につながるような指導をしているのか。探究活動で得た将来のプランを実現するためには、どのような大学のどのような学部に進むとよいというような指導になっているのか。
⇒1年次の探究活動で職業・学問について研究することは、大学進学に直結している。
2年次の探究活動は、必ずしも大学進学先決定に直結するものではない。
⇒最近は大学が高校生の探究活動発表の場を設けている。昨年、名古屋大学で探究活動の発表をした生徒が、そのまま名古屋大学に入学した例もあった。探究活動で興味をもったことが、本人の進路決定に何らかの影響を与えている。
- 意見2：AIの影響力が問題になっている。想像を超える進み方をしているので、できる範囲で対応してほしい。
⇒AIが得意な分野ではAIを活用し、人間が得意な分野はそれを鍛えていくことが重要である。

- 意見3：ヘルメットの着用について、どのような指導をしていくのか。
⇒ヘルメットの着用率は、1年次生40%、2年次生14%、3年次生7%で全体では22%である。1年次生の入学時に着用する生徒が増えるようしっかりと呼び掛けて、全体での着用率を高めていきたい。
- 意見4：進学で現役生がよい結果を残したとのことだが、コロナ禍で対面授業が少ない中、何か原因があるのか。
⇒学びを止めないために、ICTを活用したオンライン授業を行った。プリントのやり取りや質問対応をするなど、各教科で工夫した授業を行ったことが奏功した。
- 意見5：推薦入試で合格の鍵になるのは、学力なのか、部活動等の活動なのか。
⇒大学がどのような人物を求めているのかというアドミッション・ポリシーを理解していることと自分が何を学びたいのかということをしっかり把握していることが重要である。その学びたいことのために高校で活動してきた実績が評価されている。
⇒高校で探究活動、部活動等どのような活動をしてきたかとか、大学で何を学びたいかという心棒がしっかりしていないと評価されにくい。
- 意見6：家庭で生徒が話したことを、保護者が何気なく他人に話して広がっていくことがある。保護者の情報モラルについても意識していかなければならないと身をもって感じている。
⇒保護者の情報モラルについては、機会があれば、メール等で啓発したい。
- 意見7：ヘルメットについては、「みんなが被れば被る」と生徒は言っている。命に関わることでもあるし、子どもの気持ちもわかるので、保護者としてジレンマを抱えている。
- 意見8：交通安全推進員として、ヘルメットを被っている岐高生には意識的に「カッコイイよ!」と言っている。それを見ていたそれまで被っていなかった生徒が、ヘルメットを被るようになった。ほめることは効果がある。
- 意見9：進路を生徒が主体的に決めることについては、親の意見で動かそうとするのではなく、教職員と生徒が面談等でよく話し合い、進路変更について保護者は教職員から連絡もらった方が受け入れやすいという意見を聞いた。
- 意見10：1年次生の最初の自己紹介で、将来何になりたいとか、何を指すとかを発言する生徒が多くて衝撃を受けたという生徒の話聞いた。生徒はささいなことで学校に行きづらくなることを知ってほしい。
⇒部活動、行事等の学習以外のところで活動できる場をつくり、仲間の新たな一面を知り、それを認めていくことで、集団に入りやすくなるようにしていきたい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会において、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・各委員からは、忌憚のない多くのご意見・ご質問をいただいた。どれもそれぞれの立場から本校生徒を応援していることが感じられるものであり、学校側の考えも伝えることができて、大変貴重な機会となった。
- ・第2回以降は、生徒にも参加してもらい、生徒の意見を各委員にも聞いてもらう予定である。